

(別紙様式)

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業ブロック協議会資料

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔愛媛県教育委員会〕

1 拠点校及び連携校

区 分	学 校 名	学級数	児童生徒数
拠点校（中学校）	新居浜市立南中学校	15（2）	467
連携校 （拠点校中学校区 内の小学校）	新居浜市立金子小学校	24（2）	681
	新居浜市立金栄小学校	13（1）	351
		（ ）	
		（ ）	

※学級数の（ ）には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

2 意識調査(アンケート共通項目)※集計結果を%で示す。(％は小数第2位を四捨五入) (%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	459	51.9	38.1	6.8	3.3	61.7	29.3	7.6	1.3	37.9	45.3	13.7	3.1	29.4	52.1	14.4	4.1
		前年②	447	48.5	39.2	7.3	5.0	61.6	31.7	5.4	1.3	31.1	50.9	14.6	3.4	24.9	51.3	19.3	4.4
		本年①	449	52.3	35.6	8.0	4.0	63.3	28.5	4.9	3.3	43.4	44.1	10.5	2.0	37.2	47.0	11.8	4.0
	3	中2①	142	45.8	39.4	9.2	5.6	54.2	33.1	11.3	1.4	31.0	44.4	17.6	7.0	26.8	50.0	16.9	6.3
		中2②	135	39.3	43.0	8.9	8.9	51.5	39.0	8.1	1.5	20.7	51.9	18.5	8.9	19.9	47.8	22.8	9.6
		中3①	136	35.3	44.1	11.8	8.8	50.0	37.5	5.9	6.6	36.0	41.2	17.6	5.1	20.6	50.0	18.4	11.0
	2	中1①	157	54.1	39.5	5.1	1.3	65.0	29.9	5.1	0	48.4	42.7	7.6	1.3	38.2	51.0	9.6	1.3
		中1②	147	43.5	44.9	8.2	3.4	58.5	34.7	4.8	2.0	32.0	55.1	11.6	1.4	24.5	57.1	17.7	0.7
		中2①	156	53.2	33.3	11.5	1.9	68.6	23.7	5.1	2.6	39.7	50.0	9.0	1.3	33.3	53.2	12.8	0.6
	1	小6①	168	60.1	32.1	5.4	2.4	76.8	19.0	4.2	0	29.2	46.4	22.6	1.8	42.9	45.2	8.3	3.6
		小6②	165	64.2	29.7	2.4	3.6	73.3	22.4	3.0	1.2	25.5	55.2	16.4	3.0	46.7	39.4	12.7	1.2
		中1①	157	66.2	30.6	1.3	1.9	69.4	25.5	3.8	1.3	53.5	40.8	5.7	0.0	55.4	38.2	5.1	1.3
	小学校	高学年計	前年①	352	59.7	33.0	4.3	3.1	74.7	21.0	3.7	0.6	31.3	49.1	17.6	2.0	48.1	39.6	7.7
前年②			349	61.3	33.5	3.2	2.0	73.4	22.9	3.2	0.6	29.5	50.4	17.8	2.3	50.7	39.5	8.3	1.4
本年①			354	62.4	31.9	4.8	0.8	76.3	20.9	2.5	0.3	48.6	41.8	8.5	1.1	59.6	35.3	4.5	0.6
6		小5①	184	59.2	33.7	3.3	3.8	72.8	22.8	3.3	1.1	33.2	51.6	13.0	2.2	53.0	34.4	7.1	5.5
		小5②	184	58.7	37.0	3.8	0.5	73.4	23.4	3.3	0.0	33.2	46.2	19.0	1.6	54.3	39.7	4.3	1.6
		小6①	181	66.9	30.9	1.7	0.6	77.9	20.4	1.7	0.0	50.8	39.2	9.4	0.6	60.2	34.8	5.0	0.0
5		小5①	173	57.8	32.9	8.1	1.2	74.6	21.4	3.5	0.6	46.2	44.5	7.5	1.7	59.0	35.8	4.0	1.2

学校種	学年等	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	449	92.9	5.3	1.1	0.7	88.6	7.3	2.9	1.1	94.4	4.7	0.7	0.2	94.7	4.7	0.4	0.2
	3年	136	90.4	7.4	2.2	0.0	84.6	11.0	3.7	0.7	91.9	5.9	1.5	0.7	92.6	5.1	1.5	0.7
	2年	156	92.9	5.1	0.0	1.9	87.8	6.4	3.8	1.9	96.2	3.8	0.0	0.0	95.5	4.5	0.0	0.0
	1年	157	94.9	3.8	1.3	0.0	93.0	5.1	1.3	0.6	94.9	4.5	0.6	0.0	95.5	4.5	0.0	0.0
小学校	高学年計	354	89.3	8.5	1.1	1.1	83.9	11.3	3.4	1.4	91.2	6.8	1.4	0.6	91.0	7.3	0.6	1.1
	6年	181	94.5	5.0	0.0	0.6	90.1	6.6	2.2	1.1	92.8	6.1	0.6	0.6	92.8	5.5	1.1	0.6
	5年	173	83.8	12.1	2.3	1.7	77.5	16.2	4.6	1.7	89.6	7.5	2.3	0.6	89.0	9.2	0.0	1.7

※小学校は連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施

※「オ」～「ク」の項目の調査は平成25年度から実施

3 課題・目標・取組

課題	自主性やコミュニケーション能力の育成を図るために、全教育活動で児童生徒の適切な話合いの場を設定することが必要である。
目標	集団の中で自分の想いを伝え、他者との関わり合いを深め、主体的に課題に取り組み、解決していくことができる子どもを育てる。
取組	① 小小・小中連携による授業改善(見通し・学び合い)を図る。 ② 「特別活動の充実」による温もりと活力のある集団づくりを推進する。

4 意識調査結果の分析

(1) 好ましいと思われる事項

小・中共通	「ウ、授業に主体的に取り組んでいる」 ○ 小5から中2までの学年で肯定的な回答が増加しており、昨年度と比較すると全ての学年で「当てはまる」の数値が大幅に上昇している。 「エ、授業がよく分かる」 ○ 小6・中1は肯定的回答が順調に上昇し、中2・中3でも回復傾向にある。
中学校	「ウ、授業に主体的に取り組んでいる」 ○ 中1では「当てはまる」が倍増し、中3でも2倍近くまで上昇した。 「シ、暴力をふるった」「ス、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた」 ○ 中1・中2ではよくない回答はほとんどなかった。
小学校	「ア、学校が楽しい」 ○ 小5が昨年並みのスタートを切っており、小6では肯定的な回答が97.8%まで更に上昇した。 「イ、みんなで何かをするのは楽しい」 ○ 小6では肯定的な回答が98.3%まで更に上昇した。授業も特別活動も充実していると感じていると考えられる。

(2) 好ましくないと思われる事項

小・中共通	「コ、サ、シ、ス」 ○ 暴力やいじわるをしたりされたりすることについて、小5と中3では、「まったくなかった」と言い切れる割合が他学年より低い。
中学校	「ア、学校が楽しい」 ○ 中2・中3では肯定的回答が少しずつ下降している。「イ」の下降との相関が考えられる。
小学校	「コ、暴力を受けた」「サ、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた」 ○ 小5では「まったくなかった」と言い切れる割合が想定より低い。温もりのある集団づくりの推進が不十分であると考えられる。

5 取組事項

小・中共通	① 授業改善（見通し・学び合い） ② 「特別活動の充実」による温もりと活力のある集団づくり
中学校	① 前年度の授業評価を授業改善に生かした、小集団学習の取り入れ方の研究 ② 集会活動等、話し合いの場面を設定することによる主体性とコミュニケーション能力の育成
小学校	① 「分かる授業」の構築に向けての「学び合い、練り合い」の工夫（全校） ② 相手意識・目的意識を踏まえたコミュニケーション能力の育成（全校）

6 取組内容

(1) 事業実施計画書に記載した月別実施内容

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	第1回校内研修会（全小） 第1回公開授業参観日（全小） 第1回学校生活アンケート（全小・全学年、毎月） 異年齢集団による縦割り遊び（金子小・全学年、毎月） 縦割り花づくり（金栄小・全学年、毎月） 市教委訪問（毎月）	○ ○ ○ ○ ○ ○	第1回小・中連絡協議会 第1回公開授業参観日 第1回学校生活アンケート（全学年、毎月） 第1回連絡協議会〔東京〕 市教委訪問（毎月） 授業交流（毎学期）	○ ○ ○ ○ ○ ○
5月	第1回研究推進部会（全小） 第1回意識調査及び分析（全小）	○ ○	第1回合同研修部会【小・中合同】 第2回公開授業参観日 小学校旧担任との情報交換会 第1回意識調査及び分析（全学年）	○ ○ ○ ○

			中1ギャップアンケート（1学年） 生徒集会〈学級委員会〉（全学年）	○ ○
6月	第2回研究推進部会（全小） 第2回公開授業参観日（全小） 第1回人権週間（全小） 異年齢集団による交流給食 （全小、全学年、每学期） 児童の交流〈6年生同士〉	○ ○ ○ ○ ○	第2回小・中連絡協議会 3校PTA連絡協議会【小・中合同】 学年集会活動（1学年） 南中校区教育懇談会【小・中合同】 生徒集会〈学芸委員会〉（全学年）	○ ○ ○ ○ ○
7月	第3回研究推進部会（全小） 第1回学校評価アンケート（全小）	○ ○	第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会 第1回学校評価アンケート 生徒会資源回収（全学年） クリーン運動【小・中合同】	○ ○ ○ ○
8月	第4回研究推進部会（全小） 第2回校内研修会（全小）	○ ○	河川敷清掃【小・中合同、全学年】 第3回小・中連絡協議会 第2回合同研修部会【小・中合同】 小・中合同全教職員研修会 【小・中合同】	○ ○ ○ ○
9月			運動会（縦割り、全学年） 生徒集会〈保体委員会〉（全学年）	
10月	第5回研究推進部会（全小） 第3回公開授業参観日（全小） 児童の交流〈6年生同士〉		ブロック協議会（坂出市） 生徒集会〈図書委員会〉（全学年） 生徒集会〈学級委員会〉（全学年）	
11月	第2回人権週間（全小）		第4回小・中連絡協議会 文化祭・児童生徒交流 （合唱コンクール・生徒会企画、全学年） 第3回三校合同研修部会【小・中合同】 成果発表会【小・中合同】	
12月	第6回研究推進部会（全小） 第2回学校評価アンケート（全小） 第2回意識調査及び分析（全小）		第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会 第2回意識調査及び分析（全学年） 第2回学校評価アンケート 県学習状況調査	
1月	第7回研究推進部会（全小） 第3回校内研修会（全小） 第4回公開授業参観日（全小）		中学生による説明会・児童生徒交流 【小・中合同】 リーフレット作成・配布	
2月	第8回研究推進部会（全小） 第3回人権週間（全小）		第5回小・中連絡協議会 第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会	

	児童の交流〈5・6年生同士〉 第4回校内研修会（全小） 中1ギャップアンケート（6年）	第2回連絡協議会〔東京〕 新入生説明会・児童生徒交流 （授業参観、部活動参観） 研究紀要の作成
3月		

(2) 8月末までに実施した具体的な取組

〔小・中共通〕

① 見通しと学び合い

「授業改善推進委員会」が中心となって昨年作成した「授業の手引き」をもとに、全学年・全教科において本時の「学習の目標」を明示し、「見通し」「学び合い」「振り返り」を統一して実施することによって、児童生徒の学習意欲の喚起と持続を図っている。

授業の手引き		
	小1	中3
△ つか む	○子どもの興味・関心をかきたてる問題を提示します。 ・教科書を提示して、興味喚起への意図づけをする。 ・子どもの生活場面から形質する。	・実生活や社会の出来事を授業に取り入れる。 ・単元の流れを整理させて、本時のめあてをつかませる。 ・道徳学習（指導）につながるような興味喚起をする。
□ 見 通 す	○学習に見通しをもたせ、めあてを立てさせます。 ・これまでの学習に似たものがなかったか思い起こさせる。	・これまでの学習経験をもとに視線を明らかにして、解決の見通しをもたせる。 ・子ども同士の意見を交換させる。 ・これまでの学習経験を生かして主体的に課題解決の道筋を構築させる。
○ 考 え る	○例をまかした課題探究させます。 ・一人一人に与じたヒントを準備する。 ・具体例を提示しながら解決させる。 ・子どものつぶやきを大切にします。	・自分なりの方法で課題解決をさせる。 ・他に課題解決の方法がないか考えさせる。 ・動画やインターネット、地単人別友などを学習内容に応じ、自ら選択し活用させる。
□ 探 め る	○考えを深める話し合いさせます。 ・多様な側面で発問する場をもたせる。 ・其他人的考えと自分の考えを比べ、よさを見つけてさせる。	・一人一ペーパーグループ全体へと話し合いを深めさせる。 ・関連しや失敗も生かして、考えを創り立てさせる。 ・相手の話をしっかり聞き、建設的な意見をもって、話し合いのめざせる。
E ま と め る	○自分で学習をまとめさせます。 ・「何をた」「分かった」という達成感を味わわせる。 ・学んだことを元気づけをもって発表できるようにさせる。 ・学んだことをまかす課題を提示したり、場を記録したりする。	・文や式、範囲、資料など視覚的方法を使って、学習したことをまとめさせる。 ・正解や結論に至る道筋が理解できる場合は、それについてもまとめさせる。 ・思考の流れが分かるように、自分の言葉でまとめ、発表させる。
F 生 か す	○学習したことを広げさせます。 ・習に与じた補充問題、発展問題をさせる。 ・学んだことを元気づけをもって発表できるようにさせる。 ・学んだことをまかす課題を提示したり、場を記録したりする。	・学習内容に関連した情報を収集、選択する。 ・習に与じた課題を解決する。 ・学習内容と生活場面を結びつける。 ・授業で学習したことの中から課題を見つけて、それを主体的に解決するような発展学習をさせる。 ・学習したことの中から、自分の特性を発見し、得意な進路選択につながるさせる。

南中学校・金栄小学校・金子小学校

【授業の手引き】

② クリーン運動【小・中合同】

南中の1年生が金子小と金栄小にそれぞれ出向いて、合同のクリーン運動を実施した。小学生を小グループに分けてそのグループに中学生が必ず入り、コミュニケーションを取りながら小学校区の道路や公園などのゴミ拾いを行った。小学生をリードしていくことが難しい中学生もいたが、小・中それぞれが単独で行うクリーン運動よりも児童生徒が互いに触れ合える場面が多くあり、温もりのある活動になった。



【クリーン運動】

〔中学校〕

① 授業改善と掲示

前年度の授業評価を授業改善に生かした、小集団学習の取り入れ方の研究を推進している。より効果的な小集団学習を目指して、公開授業等を通して意見を交換している。

また、主に1年生のフロアにおいて「視覚に訴える掲示」や「考えさせる掲示」を増やし、小学校から中学校へ違和感のない移行を目指すとともに、学習方法の確認、学習意欲の喚起等を図っている。

② 生徒総会とリーダー研修会

生徒総会で「南中をよりよくするために」という議案が提出され、「私たちの力で時間が守られ、今よりも落ち着きのある学校にするためにはどのようにすればよいか」を話し合った。各学級から提案された意見をもとに夏休みのリーダー研修会で話し合いを進めた。

〔小学校〕

① 授業改善

小学校でも授業改善に取り組み、コミュニケーション能力の更なる育成と「分かる授業」の構築を図るために、掲示を工夫し、学習課題を明示して、小集団活動を取り入れる授業を徹底している。「話すこと」「聞くこと」に加え「書くこと」も多く取り入れている。(全校)

② コミュニケーション能力育成への場面設定

相手意識・目的意識を踏まえたコミュニケーション能力を育成するための場面設定が少ないという反省をもとに、小小交流に向けての事前相談や準備の時間を十分に確保した。自ら企画・運営することで、交流活動がより自発的なものになるように工夫した。

実際の交流活動では、児童が意欲的に参加し、自発的な交流や発言が多く見られた。両小学校共通で指導している「話すこと」、「聞くこと」のルールを土台にして、相手に応じた、目的に



【小集団学習】



【考えさせる掲示】



【発表する生徒集会】



【分かる授業】



【事前打合せ】

応じたコミュニケーション能力の育成を図っている。また、中学入学前にお互いを理解しておくねらいもある。(全校)



【小小交流】

7 8月末までの取組状況と課題（第1回意識調査結果を踏まえた内容を含む）

(1) 順調に進んでいる事項

小・中共通	① 見通しをもち、分かった、できたという達成感により自己肯定感を育む授業改善が進んでいる。
中学校	① 小集団活動の取り入れ方の研究が進み、「学び合い、練り合い」を深めるための指導を実践している。
小学校	① 各教科においては、小集団学習や「話し方」「聞き方」の指導が徹底されてきた。

(2) 課題となっている事項

小・中共通	② 特別活動を中心とした集団づくりの中で、コミュニケーション能力を育成していく場面の設定がまだ十分ではない。
中学校	② 生徒会活動や学校行事へ取り組む際の目的意識をもたせる指導がまだ十分ではない。
小学校	② 相手意識・目的意識を踏まえたコミュニケーション能力を育成するための具体的な活動はまだ十分ではない。

8 9月以降の重点推進事項

小・中共通	「授業改善」と「特別活動の充実」を推進し、自主性やコミュニケーション能力を育てる場面の設定を更に追求する。
中学校	「授業改善」による達成感と並行して、「特別活動の充実」を図り、生徒一人一人が意欲的・自発的に活動に取り組めるように支援する。
小学校	相手意識、目的意識を踏まえたコミュニケーション能力が児童に定着していくよう、活動の意義や目的等も十分指導する。

9 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・校内体制充実のための支援
- ・地域を巻き込んだ小小連携・小中連携の推進
- ・市全体への啓発活動

〔成果と課題〕

- 3校の担当者と定期的に取り組状況を確認しながら方向性を支援することができている。

- 本事業の取組を校長研修会等様々な会合で周知し啓発しており、市内全小中学校において取り組んでいる小中連携の推進への一助となっている。
- 小小・小中間における教職員間・児童生徒間の交流活動は、積極的に押し進めてはいるが、地域を巻き込むまでは至っていない。

(2) 都道府県教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・連携を密にした市教育委員会への支援及び指導・助言
- ・本事業の取組及び成果等についての県内への啓発

〔成果と課題〕

- 一年目の取組を分析することで、市町教委や学校の成果や課題を踏まえ、助言することができた。
- 県内生徒指導主事研修会で啓発をすることができた
- 県教育委員会として市教育委員会や学校との連携に十分な時間を取ることができず、調査研究の細かな軌道修正等が不十分あった。

10 関連URL（※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。）

【問い合わせ先】

所属	愛媛県教育委員会 義務教育課		電話	(089)-912-2943	
職名	指導主事	氏名	正岡 洋介	よみがな	まさおかようすけ